

輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）

※申請者名：JA高知市三里園芸部、品目：グロリオサ

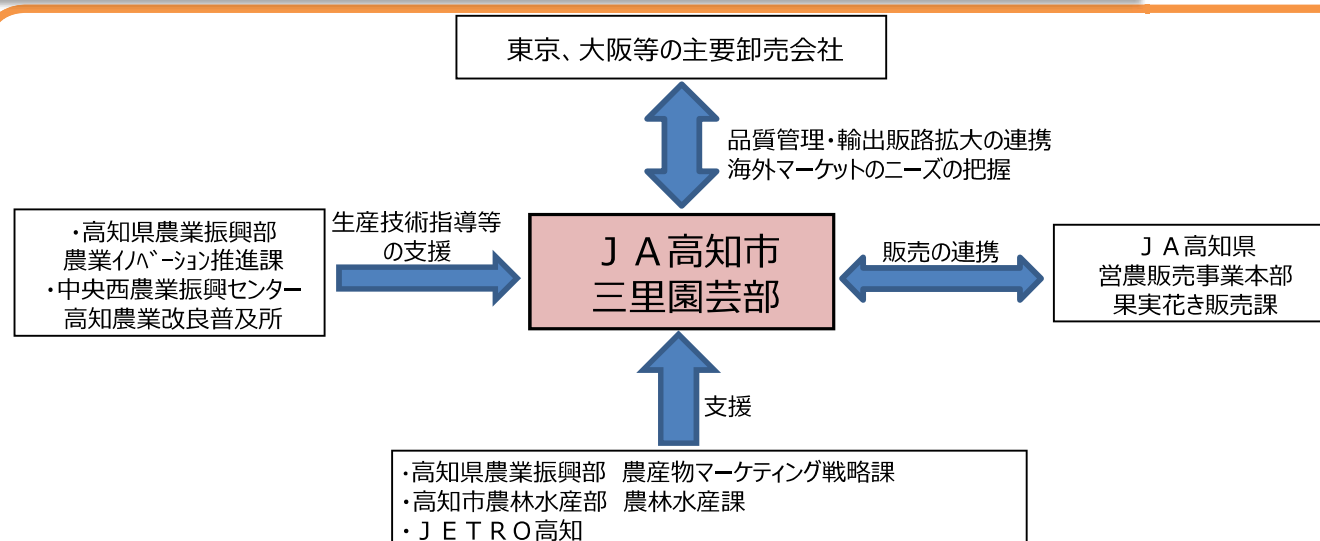
1. 輸出における現状と課題

- ・現在の主力品種が開発されてから20年が経過するが、グロリオサは生産者が個々で切り花と球根の生産を行っているため、育種等に取り組みにくい状況にあり、新品種の開発が進んでいない。
- ・慢性的な人手不足や作業員の高齢化、また繁忙期は国内仕向けを優先して人材やラインを割り振るため、輸出機会の喪失につながっている。
- ・輸送中に箱が損傷して商品が傷んでしまうというケースが度々発生した。
- ・三里産グロリオサの認知度の高い国・地域があり、それらの国・地域へのPRが不足している。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・技術の高い農家に球根生産を委託し、輸出において需要に対して供給ができないことの多い品種の増殖に取り組んで輸出量の増加を図る。また、海外マーケットのニーズに応じた新たな主力品種の開発を行う。
- ・出荷場での作業手順や方法の工夫、機材の導入などによる作業の効率化に取り組む。
- ・県農業技術センターや農研機構、卸売会社で行う各種試験結果を生かし、給水剤の装着量や温度管理、箱詰め本数で工夫をこらすなど、より良い輸送時の品質管理を追求する。
- ・未開拓の国や地域も多いことから、海外でのマーケティング調査や海外実需者へのPRを行い、更なる顧客開拓のための営業活動に取り組む。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

輸出先国：米国、中国、香港、EU（オランダほか）

輸出品目：グロリオサ

現在の輸出額：2,400万円（平成30年度）

目標輸出額：4,000万円（令和5年度）